



# 対馬丸 通信

発行：(公財)対馬丸記念会

発行人：高良 政勝

編集：対馬丸記念会事務局

Tsushima maru press

令和元年 10月30日発行 第39号

## 特集 令和元年 対馬丸慰霊祭 8月22日於：小桜の塔 【対馬丸事件75年、小桜の塔建立65年、対馬丸記念館開館15周年】

今年度慰霊祭に、当初は玉城知事自らご参列のご意向でしたが、慰霊祭の日程と翁長前知事を偲ぶ会の日程が重複し、謝花喜一朗副知事に代理参列と弔辞の代読をして頂きました。

当財団創設以来、今回初めて沖縄県知事から弔辞を頂戴いたしました。

犠牲者への深い哀悼の言葉と平和へ対する強い決意に遺族一同深く感銘を受けましたので、あらためて掲載させていただきます。

本日ここに、「対馬丸慰霊祭」が執り行われるにあたり、謹んで哀悼の誠を捧げます。

今から七十五年前の昭和十九年七月にサイパン島が占領され、沖縄戦が迫っていると判断した軍の要請を受け、政府から沖縄県の学童、高齢者、女性を島外へ疎開させる指示が出されました。

子ども達は、危険な海を渡る事への不安と初めての本土に対する高鳴る気持ちを胸に、昭和十九年八月二十一日、那覇港から長崎へ向けて出発しました。

しかし、翌二十二日、未来ある子ども達を乗せた対馬丸は、鹿児島県悪石島沖を航行中に米潜水艦の攻撃

を受けて、海中に没しました。夜中の出来事であり、十分足らずで沈没したため、ほとんどの人が船内に取り残され、現在までに学童七八四名を含む一、四八四名の尊い命が失われたことがわかっております。

対馬丸記念館に展示されているあどけない表情の子ども達の遺影を見る度に、どんなに怖かったろう、冷たかったろう、と胸が張り裂けそうな思いにかられます。

最愛の親きようだと別れ旅立った

命は、村民による必死の救出作業と手厚い看護によって救われました。当時の光景はあまりに悲惨で思い出すのも辛く、長きに亘り語られてきませんでした。対馬丸撃沈事件の悲劇を後世へ確実に伝えるため、平成二十九年三月、宇検村に對馬丸慰霊之碑が建立されました。

対馬丸の犠牲は、戦争に巻き込まれ、多くの尊い命を奪われた県民の悲しみと沖縄戦の惨さを象徴する大きな事件であり、決して忘れてはなりません。

りません。



### 来賓弔辞

沖縄県知事

玉城 徳一

子ども達、疎開させることを決意せざるを得なかった御遺族の無念さと深い悲しみ、憤りは、いかばかりかと察してあまりありません。

撃沈から数日後、奄美大島の海岸線には多くの御遺体が漂着しました。軍からの箝口令が敷かれる中、宇検村に漂着した御遺体は、村民の方々によって手厚く埋葬され、ま

ていく事をここにお願い申し上げます。

結びに、対馬丸撃沈事件で亡くなられた御霊の御冥福を心からお祈り申し上げますとともに、御遺族並びに御列席の皆さまの御健康と御多幸を祈念して、追悼の言葉といたします。

令和元年八月二十二日

# 今年も各地【那覇市旭ヶ丘公園 / 小桜の塔・十島村悪石島 / 対馬丸慰霊碑 奄美大島宇検村 / 対馬丸慰霊之碑・広島市比治山 / 船舶砲兵部隊慰霊碑】で 対馬丸慰霊祭が執り行われました



## 8.22 小桜の塔

一昨年の宇検村に続いて、昨年から広島でも慰霊祭が執り行われ、今年も全国4ヶ所で対馬丸の御霊に対して哀悼の祈りが捧げられました。



県知事弔辞代読 / 謝花喜一郎 沖縄県副知事



遺族代表弔辞 / 高良政勝理事長



**戦後75年へ**  
慰霊では冒頭、船の汽笛が場内に流される中、参加者が黙とうをささげた。県内の児童らでつくる「しま丸児童合唱団」が「ふるさと」などを歌うと、遺族らは涙を拭い、犠牲者を悼んだ。

主催する対馬丸記念会の高良政勝理事長(79)は「皆さまの帰りをひたすら待ち続けていた。遺族も年を追うごとに少なくなりましたが、子や孫へ引き継がれてたくさんの人に「参列いっしょ」を出はなかつた。一方、これまで遺影がなかった宇重4人、船員1人について、遺族から今年提

1788人を受けて那覇を出発した学童疎開船「対馬丸」が、1944年8月に本軍の魚雷を受けて鹿児島県悪石島沖に沈んでから22日で75年を迎えた。那覇市若狭の慰霊碑「小桜の塔」では蒸し暑い天候の中、遺族や生存者約550人が集まり、鎮魂の思いを胸に慰霊祭を開いた。

(24・25面に関連)

## 対馬丸鎮魂の祈り 撃沈75年慰霊祭に550人

「争いや戦争のない世界を希求し、「真福を祈ります」とあいさつした。

玉城学二県知事は「遺影を見る度に、胸が張りさげそうなおもいに駆られます。このよきな痛ましい悲劇が二度と繰り返されることのないよう、教訓を次の世代へ正しく語り継ぎ、世界の恒久平和の実現に向けて全身全霊を注ぎかけていこう」とお祈り申し上げました。

対馬丸記念館によると、対馬丸の正確な犠牲者数は分かっていない。氏名が判明しているだけで1484人、うち学童784人の犠牲が確認されている。記念館では犠牲者の申請も受け付けているが、昨年の慰霊祭から今年まで、新たな申し出はなかった。

沖縄タイムス 8月23日

供を受け追加展示した。伊波興和さん(当時12歳、那覇国民学校)▽島袋正一さん(当時15歳、那覇国民学校)▽島袋勝雄さん(当時11歳、天妃国民学校)▽菅田芳治さん(当時22歳、対馬丸船員)▽新垣恵美子さん(当時12歳、天妃国民学校)の計5人で、遺影は犠牲者の約4分の1に当たる387人分、340枚に上った。

例年は昼の慰霊祭のみだが、今年是对馬丸が沈んだ午後10時12分に合わせて遺族らが記念館に集い、追悼式も開いた。

節目の年に当たる今年も、悪石島へ向かって礼拝する「夜の追悼式」を記念館屋上で実施しました。沈没時間の午後10時12分に遺族・関係者が、金属の折鶴を捧げ、静かに手をあわせ哀悼を祈りました。



沈没時間の午後10時12分に悪石島へ向かって礼拝



## 8.22 広島市比治山陸軍墓地内 船舶砲兵部隊慰霊碑

同所にある船舶砲兵部隊慰霊碑前でも広島経済大学岡本貞夫ゼミナール主催による慰霊祭が行われ、広島在住の遺族・生存者が集い慰霊祭が営まれました。



呉海洋少年団・広島女学院・広島学院による、慰霊の手旗信号、合唱、朗読なども行われました 写真提供 / 岡本貞夫ゼミナール

# 8.21 悪石島 対馬丸慰霊碑



あおぞら活動でいつも慰霊碑周辺を清掃している、悪石島小中学校の児童たちも、今日は念入りに慰霊碑清掃に精を出しました



写真提供 / 悪石島小中学校

奄美大島宇検村、十島村悪石島、両島の慰霊碑においても慰霊祭が行われました。

八月二十一日、悪石島では慰霊祭に先立ち、悪石島小中学校の生徒と、島民有志あわせて45人によって、慰霊碑周辺の清掃活動が行われ、その後、しめやかに慰霊祭が行われました。

八月二十五日、宇検村の対馬丸慰霊の碑前には、宇検区民と久志小中学校の児童たちに加え、沖繩・奄美交流プログラムで同島を交流訪問中の沖繩県の児童・父兄などあわせて70人余が参列し、全員で黙禱を捧げた後、児童たちによる献花が行われました。

両島の皆様が犠牲者御霊へ寄せる想いを遺族一同しっかりと受け止め、感謝申しあげます。

# 8.25 宇検村 対馬丸慰霊之碑

写真提供 / (株) 国際旅行社



参列者全員で黙禱後、津田正廣宇検区長による弔辞が捧げられました



参列者を代表して久志小中学校児童・生徒代表が献花しました

8月4日から8月25日間に対馬丸報道は、県内2紙の短期連載をはじめ、中央紙（朝日・産経）などで大きく報道されました。記事数57本（記念館収集分）紙面に換算すると述べ9面（12段換算）にわたりました。（一部のみ掲載）

対馬丸撃沈75年

社説

【本報記者】「対馬丸」の沈没は、戦時体制下の日本軍艦隊が、対馬海峡を航行中に、米軍潜水艦の攻撃を受け、沈没した。75年経たずして、この出来事は、再び注目を浴びている。...

伝え続ける責任がある

大隅が家中に居た時、海水が浸み込んで来た。体が熱くなり、赤い顔をした。...

「おひ、小使（こし）のシマア、判断した日本軍の要請を受け、政府が女子学生、高松（たかたか）を介して帰国させた。...

対馬丸 遺影が語る命



兄2人の 撃沈75年 遺影の戦後



慰霊にささげ40年 古波蔵伸子さん

死の受け入れ 時間必要

「戦争の戦後」

「死の受け入れ」

対馬丸撃沈75年

社説

「対馬丸」の沈没は、戦時体制下の日本軍艦隊が、対馬海峡を航行中に、米軍潜水艦の攻撃を受け、沈没した。...

体験を継承し平和築こう

「対馬丸」の沈没は、戦時体制下の日本軍艦隊が、対馬海峡を航行中に、米軍潜水艦の攻撃を受け、沈没した。...

如笑顔で夢に

渡久山勇

「対馬丸」の沈没は、戦時体制下の日本軍艦隊が、対馬海峡を航行中に、米軍潜水艦の攻撃を受け、沈没した。...

論壇

対馬丸の遭難 軍事最優先が生んだ悲劇

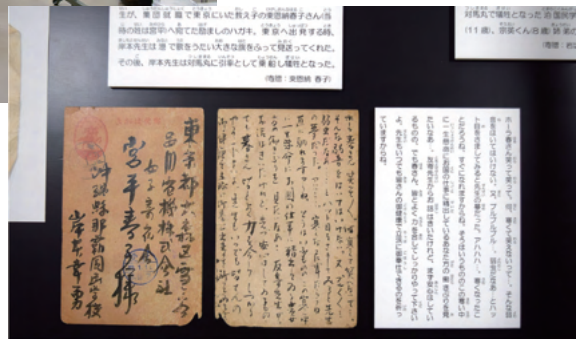
渡久山勇

「対馬丸」の沈没は、戦時体制下の日本軍艦隊が、対馬海峡を航行中に、米軍潜水艦の攻撃を受け、沈没した。...

- 慰霊祭において、左記の方々からご寄付（御香典）を頂戴いたしました。
- 阿嘉広愛、安次嶺紀美子、安次嶺喜伸、新垣美恵子、池宮城紀夫、伊佐成子、石井順子、石垣下ミ、石倉康治、石坂美砂、伊波達也、伊波博、上原孝徳、上原トミ子、上原はつ子、内原貞子、浦崎唯彦、大里剛・千代子、大城三重子、大嶺順子、翁長林行、嘉数八重子、我喜屋敏子、我喜屋芳子、我部昌宏、岸本幸秀、官次富紹心、金城園子、金城裕子、金城和子、金城美恵、具志清淳・ムツミ・一樹、具志堅雪子、久高将吉、幸地長昌、古波蔵伸子、呉屋吉則、呉屋美津子、酒居安佐子、島田あけみ、島尻英子・光雄、嶋田玲子、新里末子、平良盛一、平良輝子、高里シズ子、盛友、澤岬明、高良英一、高良久子、武富園子・明夫、立津ツル子、玉城京子、玉城博江、玉那覇有健、知名美智子、知念幸子、都築さつき、津波古敏子、渡嘉敷初子、渡久山久子、渡名喜元嗣、仲順幸子、仲宗根明美、仲宗根正、長堂嘉一、仲間初子、長嶺美代子、長嶺成悦・澄子、仲村清、仲本江利子、中山きく、中山肖子、名城幸子、西原洋子、新田信雄、浜崎盛久、早川尚江、比嘉正輝、東盛キヨ子、比屋定輝子、比屋定弘子、藤原房子、外間公也、堀内雪子、真栄里勝枝、真栄城嘉訓、真栄城嘉愛、真志喜保、又吉治子、又吉正子、宮城壮成、宮里和子、宮里善一、屋比久嘉光、山川敏江、山里典子、山入端真弓、與古田清正、湧川祐一、大嶺松雄、當間淳子、本村ツル、仲井真勇、加治美知子（護国神社）、玉城優江（立正佼成会）、嘉数真理、玉城節子、謝花澄子、上江洲 夏子、早川尚江（倫理）女師・一高女ひめゆりコーラス一同（代表与儀穂子）、大嶺雪子、當間栄安、西岡利美、有限会社ディーランド（平田久雄）、久高康良、普久本安盛、新城美由紀、中田美寿代、福永忍、三ツ松誠、宮城 恵美子、富村朝喜、上江洲 仁吉、新里律子、上門根美、照屋ヒデ、仲本澄子、宮良敏子、宮里須恵子、漢那裕子、仲本和男、藤田美枝子、国吉眞悳、宮里 昇、宮城玲子、當間淳子、小波津隆、阿嘉宗徹、無記名、糸数慶子、儀間光男、外間盛善、長沼克宗、上原妙、比嘉正詔、浦崎唯昭、渡名喜元嗣、謝花奈津子、瑞慶山良和、上原清、高良桂子、嘉数昇明、下地さとみ、新垣昌頼、源河圭一郎（公財）沖縄県女師・一高女ひめゆり平和祈念財団、岸本麗子、新里朝子、新里真美子、高良政勝、渡口真常、糸数武、崎原盛吉、野原嘉孝、津嘉山信行、照屋恒様
- （以上順不同）



対馬丸撃沈から75年、慰霊碑小桜の塔65年、そして対馬丸記念館開館から15年。75年の出来事をたどりながら、遺族、関係者から寄せられた「収藏品」を公開し、今を生きる人びとへ、その想いを伝える展示を行いました。



第32回特別展  
**対馬丸75年の想い**  
8月22日（木）～9月29日（日）



10月公演の踊「対馬丸」に向け意気込む出演者ら。10月13日、北谷町・ちやたんニライセンター。

## 対馬丸 組踊で継承

### 本番へ決意示す

**10月小中学生とプロ共演**

【北谷町内の小中学生が演じる組踊「対馬丸」主催・町民非花実行委員会が10月13日に町内下演される。町の平和推進事業で、対馬丸撃沈から75年、組踊初上演から60年とふたつを踏まえた企画。ちやたんニライセンターで3日、制作発表があり、出演者対馬丸の悲劇・伝統の組踊を共に継承する決意を新たにした。

小中学生12人の役者丸を舞く時、死んでいく人たの総勢24人が出演する。大城 ちの気持がどうしても表現できなかった。その気持ちを想像して表現できるような動きをメーク、目から程が踊りにしてほしいという思いを述べた。対馬丸記念館の高尾政月が日の対馬丸組踊にも参加する。対馬丸記念館の高尾政月が日の対馬丸組踊にも参加する。対馬丸記念館の高尾政月が日の対馬丸組踊にも参加する。

チケットは10月10日町民先行販売。一般9月20日から。問い合わせは同センター、電話098-936-3492。

ちやたんニライセンター2019  
北谷町平和推進祈念・組踊上演300周年記念企画  
対馬丸記念館開館15周年記念

# 組踊 対馬丸

作 大城 立裕

**日時** 令和元年 10月13日 [日] 1時目:開場13:30 開演14:00  
2時目:開場17:30 開演18:00

**場所** ちやたんニライセンター カナイホール

**発売日** 町民先行販売開始 8月13日 一般販売開始 9月2日  
※町民割引期間 8/13-9/13 各種 ¥300割引 ちやたんニライセンターのみ

**入場料** 前売 一般 2,000円/小中学生 1,000円/未就学児 無料 無し  
※当日 各500円増 ※全席自由 ※3歳以下のお子様同伴・入場はご遠慮下さい

**プレイガイド** ちやたんニライセンター(平日9時~17時) ☎098-936-3492 (電話予約可)  
ファミマート各店e+ (イープラス) 一般販売のみ

**お問合せ** ちやたんニライセンター(平日9時~17時) ☎098-936-3492

主催 北谷町立自主文化事業実行委員会 組踊 組踊上演 300周年記念事業実行委員会  
後援 中興院、沖縄県教育委員会、北谷町、北谷町教育委員会、公益財団法人対馬丸記念館、一般社団法人対馬丸保存会  
協力 対馬丸保存会、北谷町立図書館、北谷町立公民館、組踊研究会、対馬丸保存会、対馬丸保存会

大城立裕原作新作組踊「海鳴りの彼方」を  
子供を中心に改題「対馬丸」として公演  
10月13日 北谷町

# 令和元年度 那覇市内全小中学校平和教育担当者研修会



展示説明／第1回



展示説明／第1回



慰霊碑・顕彰碑見学／第1回



意見交換会／第2回



城北小仲程教諭による実践報告／第2回



上山中屋比久教諭による実践報告／第2回

平成25年度より那覇市教育委員会と共催で開催（平成28年度より年2回開催）している、那覇市立小中学校53校の平和教育担当教員を対象とした「平和教育担当者研修会」を今年度も5月と8月に実施しました。



那覇市歴史博物館外間学芸員による沖縄戦講話／第2回

第2回平和教育担当者研修会  
5月に引き続き、8月1日（木）に実施した今年度2回目の研修会には50名の教員が参加。那覇市歴

第1回平和教育担当者研修会  
5月9日（木）に実施した今年度1回目の研修会には50名の教員が参加。記念館の活用方法を紹介し、館内の展示や、「小桜の塔」をはじめとする記念館周辺に建立されている沖縄の歴史・文化・平和に関する碑を見学してもらいました。本研修会には初めて記念館へ来館された教員が多く、6月の平和月間前に、改めて記念館の活用について周知を図ることができました。参加者からは「学んだことを6月の平和月間に活かしていきたい」「初めて来館したので、今後はぜひ活用してみたいと思った」などの声がありました。

## 沖縄県主催 第2回対馬丸平和学習交流事業

多くの対馬丸犠牲者が漂着した宇検村宇検の船越海岸で、生存者の証言を音読する参加者ら=24日、鹿児島県宇検村

### 対馬丸撃沈

本大洋戦争中、沖縄から多くの学童らを乗せた「対馬丸」が潜水艦に攻撃され多くの犠牲者が出た事件を学ぶ。24日、沖縄県の小中学生が犠牲者が流れている鹿児島県宇検村宇検の船越海岸で、対馬丸の犠牲者慰霊祭に参加する。

### 悲劇 わが身として

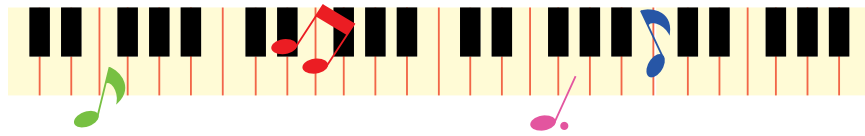
### 県内児童ら、宇検村訪問

南海日日新聞提供  
対馬丸は、944年（昭和22年）8月22日、学童一般乗船を兼ねて那覇を出発。22日、鹿児島県鹿児島市沖田で米軍潜水艦の攻撃を受け、船体は沈没した。乗客1400人以上が犠牲になった。船中、対馬丸の学童らに「お前さん、お前さん」と叫ぶ声があった。船中、対馬丸の学童らに「お前さん、お前さん」と叫ぶ声があった。船中、対馬丸の学童らに「お前さん、お前さん」と叫ぶ声があった。

史博物館の外間政明学芸員による「沖縄戦前夜と那覇での戦闘」と題した講話や、上山中学校の屋比久りか子教諭と城北小学校の仲程夢斗教諭による平和学習の実践発表各グループでの意見交換を行いました。沖縄戦の知識を深めるとともに、どのようにして平和学習を行うか、取り組みや課題等を共有しました。参加者からは「那覇にスポットを当てて学ぶことはあまりなかったのですがとても勉強になりました」「小中様々な取り組みが聞けて良かった。次年度へつなげていきたい」などの声がありました。



# つしま丸児童合唱団便り



2019. April ~ 2018 August



記念館周辺の清掃活動もしました



英語あそびは英語のアクティビティーが楽しいんです



今年も新たな活動の開始です



こいのぼりを掲揚後仲良く並んでハイポーズ



対馬丸慰霊祭（右上）や沖繩全戦没者追悼式で自慢の美声を披露しました

4月27日(土)

小桜の塔・こいのぼり掲揚

5月5日の子供の日の前に、支援者の皆様から頂戴いたしました鯉のぼりを、今年もつしま丸児童合唱団の子供たちと一緒に掲揚しました。平和への願いを込めて元気よく、こいのぼりの歌を奉納合唱しました。

5月25日(土)

令和元年度つしま丸児童合唱団結団式

令和年代はじめての、合唱団結団式を行いました。今年で発足8年目を迎えた、合唱団の活動紹介や先生方からお話のあと、元気よく英語あそびや合唱を行い、今年度の活動に向けて心を一つにしました。

(9月21日現在の団員数は18名)

6月23日(日)

令和元年度沖繩全戦没者追悼式

沖縄県平和祈念公園(糸満市摩文仁)にて執り行われた沖繩県主催の「令和元年度沖繩全戦没者追悼式」に参列し、献花の時間に合唱を行いました。「涙そうそう」「月桃」「ピリッ」「いのちの歌」「ねがい」「つばさをください」を那覇青少年合唱団と一緒に歌い、会場が子供たちの心温かく優しい歌声に包まれました。

8月22日(木)

令和元年度対馬丸慰霊祭

小桜の塔にて執り行われた「令和元年度対馬丸慰霊祭」にて、OBや那覇青少年合唱団、那覇青年舞台プログラムの生徒たちと一緒に、「小桜の塔の歌」「海の子守唄」「ふるさと」を合唱しました。歌を通して、対馬丸犠牲者へ平和を約束するとともに、500名を超える参列者へ平和の心を届けました。

## 合唱団団員募集!

つしま丸児童合唱団に興味がある!歌が上手になりたい!楽しく英語を学びたい!というお子様がいましたら、ぜひ一度見学・体験にきてください!

活動日:毎週土曜日

9時~11時45分

(9時~10時:英語あそび)

10時~11時45分:合唱)

活動場所:対馬丸記念館

対象:小学生

(1年生~6年生)

年会費:1000円

※活動がお休み又は活動場所が若狭小学校の場合がございますので、事前に当館(電話:098-94-3515)へご連絡よろしくお願いたします。

# イベント・行事

令和元年度第1回那覇市内全小中学校平和教育担当者研修会

8月1日

令和元年度第2回那覇市内全小中学校平和教育担当者研修会

恒例となった那覇市内全小中学校平和教育担当者研修会が今年も5月と8月の2回実施されました。(本文6ページ上段記事参照)

令和元年度第1回通常理事会

記念館にて第1回通常理事会が行われました。事業報告とそれに伴う決算報告が行われました。

併せて新人事の報告が行われました。

事務局長 枝川健治

解任(退職) 鉢嶺清典

令和元年度臨時評議員会

令和元年度臨時評議員会

記念館にて今年度の評議員会が行われ、事業報告・決算報告が事務局から報告された承されました。引き続き任期満了となった全理事の選任手続きに入り、新任、異論などなく前期理事全員が再任されました。

評議員会終了後、引き続き臨時理事会が行われ、役員選出の手続きに入り、現三役(理事長高良政勝、副理事長渡口眞常、常務理事外間邦子)が再任されました。

6月23日

平和の詩の朗読会 2019

今年も慰霊の日に合わせて、那覇青少年舞台プログラムによる、歌と踊りで対馬丸と平和を伝えました。

8月3日

北谷町平和推進折念・組踊上演三百周年記念企画 対馬丸記念館開館十五周年記念 「組踊対馬丸」制作発表会

芥川賞作家大城立裕先生の新作組踊「海鳴りの彼方」を原案とした組踊「対馬丸」の記者発表会が、北谷町ちやたんニライセンターカナイホールにて開かれました。同町在住の児童・生徒をメインキャストにベテランの立方を交えて同公演への抱負を力強く子供たちが発信しました。当館も公演の冠と後援団体として協力いたしました。(本文5ページ下段新聞記事参照)

8月22日

第32回特別展 「対馬丸75年の想い」対馬丸撃沈と対馬丸記念館開館そして現在

毎年慰霊祭にあわせて、開催する特別展ですが、今年是对馬丸撃沈から75年、小桜の塔建立から65年。そして対馬丸記念館開館から15年という節目の年に当たりました。そこで、これまで遺族会としての歩みと、財団への

移行後の対馬丸にまつわる75年の出来事を振り返る展示を行いました。(本文5ページ上段記事参照) **トピックス**

7月21日

沖縄県主催 第2回対馬丸平和学習交流事業事前学習受け入れ

沖縄県主催の、第2回対馬丸平和学習交流事業への参加者を対象に、沖縄戦や対馬丸事件への知識を深めるため、事前学習を受け入れました。また、奄美大島宇検村の久志小中学校の児童との交流がスムーズに行われるように、同村に慰霊碑ができた経緯や対馬丸事件について学んでもらいました。(本文6ページに同島訪問新聞記事掲載)

8月22日

記念館開館十五周年記念表彰式

開館十五周年にあたり、これまで遺族会・記念館活動の中で顕著な功績を挙げた方々に対して感謝状を贈呈し、その功績を称えました。表彰された方々は次の27氏、5団体です。(敬称略 順不同) 阿嘉宗徹、伊志嶺豊和、糸数裕子、池宮城晃、上原清、大嶺正次郎、親泊良子、垣花奉頌会、久高將吉、斉藤幸江、謝花寛堂、新里朝子、平良啓子、高里千穂子、玉城祐子、照屋寛、當間榮安、泊先寛顕彰会、西岡利美、真栄城修、又吉治子、宮城淳、宮城清志、村吉正行、医療法人陽心会大道中央病院、上原徹、名幸俊海、山里典子、上山中学校、上山中学校剣道部、遠藤昌孝、金丸鋼造

8月22日

新規遺影掲示式

慰霊祭に先立ち、昨年度新たに寄贈された遺影の掲示を行いました。

掲示された遺影は、新垣恵美子、伊波興和、島袋正一、島袋勝雄、菅田芳治の以上5名(4枚)です。

ご寄付

香典返し

新里叡様より亡父新里清篤さん(元対馬丸遭難者遺族会長)の年忌法要の香典返し。

久場富子様より亡母屋宜信子さん(生存者)の香典返し。

6月28日 石坂美砂様よりチャリティ公演収益金より多額のご寄付をいただきました。

8月22日 たから歯科様より慰霊祭において多額のご寄付をいただきました。

3月1日

9月30日

崎山真智子、上原レイ子、宮里由希、大湾一郎、重田辰弥、美知子ナビンジャー、仲間康雄、与座ヨシ、宮里正男、外間邦子、伊佐智子、高良桂子、山城正子、上江洲仁亀、山里典子、我喜屋敏子、廣瀬重之、安藤和枝、湧川秀子、許田千恵子、平良啓子、早乙女良一、山加恵津子、末吉藤乃、加守田サチ、加守田美恵、島袋文雄、兼元和子、浅野秀男、道広良子、菓正継、川口勝、坂本祐子、一般財団法人兵庫遺族会、神谷嘉代子、羽太勝子、上原節子、大森節子、天笠茂、

又吉康男、湧川秀子、嘉数昇明、謝花奈津子、那覇市立神原小学校、那覇市立大道小学校、比嘉幸子、石坂美砂、上原修、野原峯子、長嶋和人、鹿島令子、土肥義胤、斎藤幸江、佐々弘美、喜名美優、山口郷子、ぶどうの木保育園、平良啓子、中本福祉会(光の子保育園)、宮城初枝、一般財団法人泊先寛顕彰会、宮城良枝、賀数稔、勝村里美、河田真智子、當間嗣朝、柴田一郎、新垣匡子、柴原智幸、長田正明、中村直子、松田きく、福田健、比嘉涼葉、比嘉いずみ、岸本勝次、菊部弘達、斉藤幸江、猿木弘一、松本和、宇良宗浩、亀田明子、近藤習子、高橋ミエ子、饒平名秀昌、オオギカズユキ、田中順一、渡口美子、立正佼成会沖縄教会、羽角淳一、甲斐真由美、新川善哲、御幡眞理、安次富百合子、外間ゆき、柳木勝義、本村つる、中園博文、真栄城修、名城悦子、外間宏正、金城千代子、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、島谷敦子、太田 恭子、島袋登之、島袋哲英、島袋侑哲、則子、宮城榮孝、世志子、西原良信、ミドリ、金子秀夫、高良美代子、川崎 久子、徳元めり子、儀間剛・秀子、末吉桂太郎・藤乃、村上弘行、高嶺しげ子、仲松学・かおり、楠本文郎、長井幸一、刺木和代、比嘉恵子、上原庸子、つしま丸合唱団講師(高里・友利・長嶺) 同英語講師(平良・春山)、松木路子、武田克彦、酒光幸子、山城清昌、渡名喜洋三、石谷倫子、松本勝幸、池原貴美代様、(順不同) 以上の方々からご寄付を頂戴いたしました。ありがとうございました。